

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成27年1月現在、103団体が加入しています。

今回は平成26年9月20日～22日に開催された「川に学ぶ体験活動全国大会」等を中心にご紹介します。

【第14回川に学ぶ体験活動全国大会 in 五ヶ瀬川】

今回の全国大会は、五ヶ瀬川の下流域の延岡市をメイン会場として、「伝統的な川文化」を継承する体験活動をテーマとして開催し、地元の方や全国各地から約350名の方々が参加しました。

1日目のオープニングは地元の元気な小学生の「權伝馬踊り」から始まりました。基調講演では、竹村公太郎さんに、日本の国土と歴史が育んできた流域文化についてのお話を頂き、右肩下がりの時代のキーワードをみんなで考える機会となりました。また、全国活動事例紹介では、地元の工業高校生による伝統工法「なんば引き」実習紹介の他、各地での活発な活動に元気を頂きました。



2日目の分科会では、4つの分科会に分かれ、それぞれの分科会が定員をはるかに超える参加者でにぎわい、時間ぎりぎりまで集合知を高める時間となりました。

その後のエクスカージョンは①清流五ヶ瀬川をEボートで満喫するコース、②五ヶ瀬川ならではの河川施設をめぐるコース、③北川の伝統漁法を体験するコース、の3つ。地元の川を愛する方にガイド頂くのは全国大会の大きな楽しみの一つとなっています。

【平成27年度の「川に学ぶ」全国大会（予告）】

来年の全国大会は、五ヶ瀬川から北海道ニセコ町へとバトンタッチされ、ニセコを流れる尻別川

流域のメンバー中心に北海道のRAC構成団体も含めて着々と準備が進められています。

開催予定日は9月26日（土）～27日（日）。ニセコは、人口5千人の町に、観光客が年間で約160万人も訪れるという全国でも有数の通年観光リゾート地の一つ。

ぜひ次回の大会そのものを、みなさんの団体、組織の定期研修や新人研修、防災等のボランティア研修等に位置づけて頂き、この機会に是非とも「北海道ニセコ町」へお越しください。

【「川育ライフジャケット」の認定ガイドライン】

川での体験活動現場ではライフジャケットが一般化しつつありますが、我が国には「川遊び用のライフジャケットとして推奨できる安全基準」や「試験・認定制度」が未だ存在していないのも事実です。

そこで、RACでは、安全に楽しく川で遊び学べるよう、「川という自然環境下での体験活動に適したライフジャケット」（川育ライフジャケット）の安全基準及び認定基準等に関してガイドラインを構築し、昨年12月にWEB上で正式に認定申請窓口を設置しました。

公的な備品購入等の目安としてご利用ください。



【第12回RACフォーラムのご案内 2/28～3/1】

今回のフォーラムでは、河川環境課の田中里佳さんより『河川環境と市民のつながり』についてご紹介頂きます。また、分科会では「RAC学校連携コーディネーター養成講座」等の付加講座の受講も可能です。参加申込方法等につきましては下記RACのホームページにてご参照下さい。

《NPO法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端 1-11-1 勸五郎ビル 104

TEL.03 - 5832 - 9841 FAX.03 - 6893-2642

<http://www.rac.gr.jp>